

県立東金病院に 女性専用外来を開設

県立東金病院では、今月八日(土)から、都道府県立病院としては全国初の、女性医師による女性専用外来診療を始めます。

女性には、乳がんや更年期障害、骨粗しょう症など、女性特有の病気や、男性に比べて女性がかかりやすい病気があります。

また、男性の医師には話にくいこともあります。

こうしたことから女性専用外来診療では女性の身体的な症状や、精神的な不安などに

対し、総合的な診

療を行います。必要があればそれぞれの専門医と連携するなど、適切な医療が受けられるようにしていきます。

また、患者一人に

ついて、三十分程度の診療時間を取りますので、診療はかりか相談も受けることができます。

この女性専用外来は、毎週土曜日の午前九時から正午ま



で行います。完全予約制となつていきますので、電話もしくは内科外来受付で予約をしてください。

問い合わせ 県立東金病院

TEL 0475(54)1531



東総地域のスポーツ活動の拠点として干潟町に整備を進めていた「千葉県総合運動場東総運動場」が、今月二十二日(土)にオープンします。

自然に恵まれた、総面積約十三

ヘクタールの敷地内には、一万五千人を収容し、全天候舗装で四百ヤード・九レーンのトラックと、サッカーの試合にも対応したフィールドを持つ本格的な陸上競技場が整備されています。そのほか、砂入り人工芝のテニスコート八面、多目的広場、約三百台収容の駐車場などがあります。

●所在地 香取郡干潟町清和2621

●利用受付

利用したい月の二か月前の一日から受け付け(午前9時から午後5時まで…電話可)ただし、その日が休日の場合は、その翌日。なお、十一月分までの受付は、九月五日から随時行います。

東総運動場がオープン



(申し込みについては、使用許可申請書を利用する二日前までに提出してください。申請用紙は、東総運動場にありません)

●休場日

毎週月曜日、祝日の翌日(ただし、土・日曜日を除く)、十二月二十六日から一月四日、特別の事情のある日

利用料金など詳しいことは東総運動場または県教育庁体育課にお問い合わせください。

問い合わせ
東総運動場
県教育庁体育課

TEL 0479(68)1061
TEL 043(223)4106

「千葉なの花県民会議」の 参加者募集

千葉なの花県民会議を次のとおり開催します。

参加者

開催する市町村にお住まいの方または勤務・通学している方

参加申込方法

「千葉なの花県民会議参加希望(市町村名)と明記し、氏名、郵便番号、住所、年齢、性別、職業、電話番号(ファクスで申し込みの方は、ファクス番号)、勤務先または学校名とその住所(会場の市町村に住所のある方は記載不要)を書いて、はがき、ファクスまたはEメールで申し込んでください。

電話による申し込みも受け付けています。(土・日・祝日を除く9時～17時)



参加申込者が多数の場合は先着順とします。参加者にははがきで通知します。

申込先・問い合わせ 〒260 8667 (住所省略可)
県庁広報課県民センター室「千葉なの花県民会議」係

Eメールアドレス
kouhou2@ml.pref.chiba.jp

市町村名	日時	会場	募集
勝浦市	9月15日(土) 14:00～15:30	勝浦小学校体育館	250人程度
印旛村	9月18日(火) 14:00～15:30	印旛村中央公民館	150人程度
白井市	9月18日(火) 17:00～18:30	白井市文化センター	300人程度
小見川町	9月22日(土) 14:00～15:30	小見川スポーツ・コミュニティセンター体育館	250人程度
東庄町	9月22日(土) 17:00～18:30	東庄町公民館大ホール	180人程度

気を引き締めて交通事故防止

秋の全国交通安全運動

秋は絶好の行楽シーズン。車を利用して出かけることが多くなります。また、夏の疲れなどから、気がゆるみがちになるこの時期は、特に交通事故に対する注意が必要です。

千葉県内では、今年の一月から八月二十日までの間に全国で二番目に多い二百四十四人の尊い命が失われています。

今月二十一日(金)から「信号ムシ あなたの心にいませんか?」をスローガンに秋の全国交通安全運動が始まります。



車を利用するときにはシートベルトを着用し、スピードは控え、安全運転に心掛けましょう。小さな子どもを乗せるときは、必ずチャイルドシートを使用しましょう。

交通事故をなくすには、一人ひとりが交通ルールとマナーを守ることが大切です。

問い合わせ
県庁交通安全対策課
TEL 043(223)2263
FAX 043(221)2969

わたしと
ちば

(128)

レーシングライダー
なかのしんや
中野真矢さん



昭和52年生まれ。2歳のとき東京から大網白里町に転居。16歳でSP忠男レーシングチームからロードレースにデビュー。平成10年、全日本ロードレース選手権250ccチャンピオン。同年ロードレース世界選手権初挑戦。昨年250cc世界ランキング2位。今年からロードレース最高峰の500ccに参戦中。

「夢は500ccのライダーとして、

日本人初の世界チャンピオン」

「五歳のとき、両親に連れて行ってもらったサーキット場で、子ども用のポケットバイクに乗ったんです。そのとき、恐ろしくて泣いてしまったことを、今でも覚えています」と語る世界的なレーシングライダーの中野真矢さん。

小さいころから、数々のレースに参加し、十六歳から本格的にライダーを目指した中野さん。平成十年に全日本ロードレース選手権250ccのチャンピオンになった後、世界のトップライダーを相手に戦い、昨年は250ccクラスで世界ランキング二位、今年はロードレースの最高峰である500ccクラスで上位入賞するなど、目覚ましい活躍をしています。

「友だちがサッカーや、野球を練習しているのと同じ感覚で、バイクを習いに行っていました。千葉にはバイクのサーキット場が多くバイクを練習するには最高でした」と語る中野さん。バイクは「危険・暴走」などのイメージを持つ人がいるみたいですが、バイクの良さをモータースポーツを通してもっと知って欲しいと中野さんは言います。

その中野さんが一番気にしているのが交通事故。「千葉県は全国でも交通事故が多い県というところは、とても悲しいです。でも、私たち一人ひとりが交通ルールとマナーを守れば、絶対に交通事故を減らすことができます」と話してくれました。「小学生のころは、釣りが好きなごく普通の子ともだった私が、途中何度か挫折したり、失敗しても、あきらめずに、いつも夢を持ち続けたから、小さいころからの夢だったライダーになれたのです。頑張れば、いつかは夢がかなうんです。私の夢は、ライダーとしてできるだけ長く活躍し、いい成績を残すこと。そして、500ccクラスで、日本人初の世界チャンピオンになることです」と笑顔で夢を語ってくれました。



千葉のサーキット場は、とても懐かしい思い出の場所です。